

三中大よい

三崎中学校校歌

珠洲の海原 そよ風渡り いま朝日子の 光のうちに
玉も白たま より来る岸边 望みあふれて いそしみはげむ
我等が 三崎中学校

校訓 自治 親和 責任

学校教育目標

自立して学び
人と協働して
貢献できる生徒の育成



令和4年6月27日 第3号 珠洲市立三崎中学校

珠洲市立三崎中学校

検索

地震と避難～「馴れ」と「慣れ」～

校長 濱野 裕之

6月19日（日）の15時8分、珠洲を震源とする震度6弱の地震が起きました。幸い、学校には被害はありませんでしたが、被害を受けたご家庭もあるかと存じます。心からお見舞い申し上げます。私自身は、この時、相撲大会の応援からの帰途でした。運転中に地震速報が流れ、車を止めて震源を確認し、携帯で職員と生徒の安否確認を行いました。しかし、携帯電話での安否確認ができたのは、最初の数分で、その後は、携帯がつながらなくなり、安否確認を終了するまでに時間がかかってしまいました。これまでも、災害時における携帯電話の必要性とともに、つながりにくくなるという問題が指摘されてきましたが、その課題を再認識することとなりました。



さて、三崎中学校では、6月15日（水）に地震・津波の避難訓練を行っており、避難方法として次の3点を指導しました。

- ①地震発生時の安全確保の行動：「しゃがむ・かくれる・じっとする」（頭部の安全確保）
- ②災害情報の確認行動：「校内放送による避難経路の確認と津波発生時の避難場所の確認」
- ③避難時の安全な避難行動：「押さない、駆けない、しゃべらない、戻らない」

地震発生後に津波が発生したとの想定で行った避難完了までに要した時間は2分40秒で、生徒・職員の全てが安全に避難することができ、生徒には真剣に取り組む姿勢が見られました。こうした訓練を大きな地震発生前にすることができたことは幸いであったと思います。

翌日には、登校してくる生徒を玄関で迎え、本人や家族、建物などに被害はなかったか、安全な避難行動がとれたかを一人ひとりと短い時間でしたが、確認することができました。その中でわかったことは、学校で指導した「しゃがむ・かくれる・じっとする」ができた生徒がいる一方、ゲームなどに気をとられ、素早い行動がとれなかった生徒もいることでした。

珠洲では、昨年から小規模な地震が頻繁に起こっています。そのため、大人も含め子供たちの中には避難をせずに「今の震度は2か3だね。」と自己判断をしてしまうこともあるのではないかと危惧されます。「馴れる」という言葉を辞書で引くと「物事に絶えず触れることによって、それが平常と感じられようになる」とあります。繰り返されることで警戒心がなくなった状態です。これに対して「慣れる」は「何度も同じ経験をすることにより、やり方に習熟すること」です。

地震・津波などの災害に対しては、「馴れる」ではなく「慣れる」ことが大切になってきます。ぜひ、ご家庭でも、在宅の時の避難について、話し合っただけであればと思います。

配付されているハザードマップをもとに、それぞれの地域の最大津波高、津波到達時間、避難場所、災害発生時の連絡の取り方などを確認することで、災害への意識を高めることができると思います。学校と家庭、地域が連携していくことで、災害対策もよりよくすることができるのではないかと思います。

5月27日（金）に2年生は、寺家でジャムづくりをしている下谷ますえさんのお話をお聞きました。職場体験学習に先立ち、働くことについて学びました。ジャムづくりを始めたきっかけや材料の果物を集めるための苦労話、素材のおいしさを生かすためのこだわりなど、お話は興味深く、楽しい時間はあっという間でした。生徒たちを見つめる下谷さんのあたたかいまなざしが印象的でした。

お話を聞いて、一番驚いたのは、果物をなかなか分けてもらえなかったことです。果物をもらうがこんなに大変だったなんて知りませんでした。下谷さんが、ジャム作りについてこだわりがあるのにとっても感動しました。
2年 干場 湧仁

ジャムについて、初めて知ることが多かったです。自分の家に近い所でジャムなどを作っていたことを初めて知り、すごいと思いました。甘さを3分の1に抑えて、小さい子からお年寄りまで安心して食べられるようなジャムを作られていてすごいと思いました。
2年 前 結音

僕は、チーズがきらいです。だけど、ジャムの甘みが強くてジャムがいい具合になっていました。甘くておいしいです。いつまでも作り続けてください。今日は、ありがとうございました。
2年 竹中 猛

工房をはじめた頃は、材料を集めることや、材料をくださる農家さんを見つけるなど大変なことがあったと思います。ですが、いろんな人たちと協力して乗り越えてきたと知って、「働く」には人との協力が大切だと分かりました。
2年 知家 日菜乃



2年生着付け教室

6月17日

三崎公民館で着付け教室があり、2年生が「華むすび」のみなさんに教えていただきました。普段なかなか浴衣や着物など着る機会がないので、難しかったようです。しかし、何回も練習して、最後は、選んだ浴衣を自分で着ることができました。

着付け教室の中で、私が一番難しいと思ったのは、帯の結び方です。手順がたくさんあったし、途中で帯がぐちゃぐちゃになってしまうことがありました。でも、伸ばして整えることできれいに見えるようにすることができました。人に着せてもらうのと、自分で着るのでは、達成感や喜びが違っていると感じました。今までは和服を来ていなかったのに、和服を着る機会を増やしたいです。
2年 高木 千穂



私は、浴衣を自分で着るのが初めてでした。着付けでは、たくさん手順があること、きつく締めなければならないことが大変でした。一番難しかったのは、帯を巻くことです。最後は、浴衣のたたみ方も教えていただき、どのようにたたむのかもよくわかりました。今後、浴衣や着物を着る機会があったら、華むすびの方に教えてくださることを生かしたいと思います。
2年 表 可暖

自分は、初めて浴衣を着ました。腰ひもの結び方が難しかったです。そして、腰ひもをしめるときにつかれました。でも、帯の結び方を覚えられました。素材が洋服と違って厚いことがわかりました。たくさん教えていただきありがとうございました。
2年 泉 心翔

ホワイトボードミーティング学習会

6月3日

ホワイトボード・ミーティング®公認講師の横山弘美先生による学習会を行いました。2・3年生は昨年度も横山先生と学習をしましたが、1年生は初めてということで、上級生がリードしてしっかりと話し合いを行いました。最初は緊張していた1年生も笑顔で学習会を終えることができました。

今まであまり話したことがない人とたくさん話せました。そしたら好きなものと同じだったことがわかり、仲良くなることができました。授業でも習ったことを実践してよい話し合いにしていこうと思います。
3年 谷内 未華子

思っていることが結構話せて、自分でもびっくりしています。最近の悩みなどを吐けたのですっきりしました。話し合いでは自分が意見を言って他の人が「これ、面白いんじゃない。」とかアイデアを出していたので、とても意見が広がりました。
1年 畠田 彩羽

改めて相づちが大事だと思いました。相づちを打つことで、話している相手に緊張させないようにできたり、会話をはずませるきっかけにできたり、さまざまな効果があって、会話がとても楽しくなりました。
3年 高野 大和

印象に残ったことは、2つあります。1つ目はホワイトボードで意見がまとまりやすいことです。内容がわかりやすく、より速く意見交流ができるという気づきです。2つ目は相手の性格や考えていることなどを知ることができることです。
1年 川淵 泰

今まであまり話をしてこなかった1年生や2年生と話をすることで、1・2年生に対する印象がすごく変わりました。また、ボードでまとめたことを他の人に話すことで、言い方を工夫することができ、何を言いたいかわ自分でまとめながら話すことができました。
3年 井田 圭香

ファシリテーターは、質問と相づちを考えて使うことがとても難しかったです。企画会議では、四人で話し合っ意見をまとめることができました。昨年より上手く話すことができたので、練習して横山先生のようになろうと思いました。
2年 川上 華凜

初めてホワイトボードミーティングをしてみて、「うんうん」や「なるほど」と言ってもらえるだけで、すごくうれしい気持ちになるなあと感じました。わたしも授業などで、たくさん反応をしてあげようと思いました。
1年 瀬戸 愛生



2・3年生と、自分の頑張ったことを伝え合いました。聞いている人が相づちをすると、話している人が話しやすくなると思いました。
1年 清水 一磨



7月の行事予定

1日(金)	生徒会委員会
5日(火)・6日(水)・7日(木)	期末テスト
5日(火)	生徒集会・いじめ撲滅集会(6限)
8日(金)	シェイクアウトいしかわ・避難訓練
16日(土)	県大会(相撲)
20日(水)	終業式
21日(木)	通知表渡し
27日(水)・28日(木)・29日(金)	わくワーク体験(2年生)
28日(木)	親子議会

◆地引網体験は今年度中止となりました。

ありがとうございます

いただきもの

三崎町区長会から、各部へ
『部活動助成金2万円』ずつ

四十住 基子 前校長先生より
生徒全員に『スポーツドリンク』

三中部活動

能登地区大会

6月12日・18日・19日

3年生にはこれまでの部活動の集大成となる、能登地区大会が行われました。残念ながら、県大会出場の切符は手にすることはできませんでしたが、試合の内容は勝利まであと一步というところまで詰め寄るなど、満足できるものでした。また、「最後まで三中生らしくプレーする」「チーム一丸となって協力して頑張る」などの目標を達成することができました。生徒たちの振り返りもすばらしいものでした。

バスケットボール部

3年 青坂 莉奈

試合の最初は自分の思い通りにいかず、ショックで涙を流してしまっただけ、仲間みんなが声をかけてくれたり、支えてくれて、最後まで頑張ることができました。終わった後は、もっとバスケットをしたかったなと思いました。優しく何事にも全力で取り組むみんなとバスケットができてすごく楽しかったです。



バスケットボール部

3年 松井 菜乃華

今回の大会が最後の大会となってしまったけど、今までで一番楽しかった試合となりました。私が一年生の時は、点差が開いたゲームだったり、ボールがつながらなかったり、うまくいかないことが多かったけど、この試合では、全員すごく上手になったんだと思いました。



ソフトテニス部

3年 濱野 夏妃

今回試合を終えて一番強く思ったことは「悔しい」です。でも、それだけではなく、良いプレーもたくさんあったので、それは良い思い出として胸に刻んでおこうと思います。特にサービスエースを2回連続で決めた時の興奮はずっと忘れられないと思います。

ソフトテニス部

3年 谷内 未華子

試合を終えて、カットサーブに対応できなかったり、相手の動きをみてボールを返せなかったり、風を考えて打つことができなかったり、もっとこうしておけばよかったとばかり思っていました。でも、2年数か月の部活動は、振り返ってみると楽しいこともあり、とても良い思い出です。

野球部

3年 畠田 煌心

大会で感じたことは、最後まであきらめないで試合ができたことで前向きになれたことです。今までは、負けているときに声が出なかったけど、大きい声を出すことで負けをプラスに変えることができ、自分の良いところもダメなところも把握して成長していけると感じました。これまで支えてくれたたくさんの方々の期待に応えるためにも何事にも全力で挑戦していきたいです。



三崎中学校と宝立小中学校の合同チームで出場しました。

野球部

3年 新川 純冬

バッティングでは、ミートとコンパクトに振ることを意識していたら、球速が速かったこともあり、センターオーバーを打つことができました。ピッチングではボールを低めに集めて投げることができました。最後の試合になったけれど、全カプレーであきらめず、楽しみながら、ピッチングなどをすることができてよかったです。

中学校相撲選手権大会



相撲部

1年 松井 颯志

相撲の大会は初めてだったので、試合に出ることができたのが良かったです。団体戦で1勝しかできなかったけど、勝つことができたのは大きな収穫です。今回は勝てたけれど、次に勝つのは難しいと思うので。今後の練習で技を覚えるなど対策をしたいです。

相撲部

2年 干場 湧仁

選手権大会を終えて思ったことは「悔しかった」です。自分は未熟で、やるべきことがたくさんあると思いました。反省点は「取り組み中に何も考えていないこと」と「立ち合いでしっかりあたり、踏み出すことができなかったこと」です。この反省点を踏まえて、これから練習していきたいです。